

みんなで  
語る  
私たちの  
未来。



まちを  
つくる  
私の  
アイデア。

2018



# 中高生から 社会へ 12の提言



鹿児島の中高生が社会人や大学生たちと語り合い考えた  
この夏の3日間の記録

# Our future we talked with!!



## 中高生子どもMTGとは

次代を担う

中学生・高校生の皆さん。

これから光り輝く皆さんに

鹿児島島の“今”を見て知って、

働く大人達の

話を聞くことを通して、

鹿児島島の“未来”や

自分の“将来”について

考えるきっかけになる事を

望んでいます。

## グラウンドルール



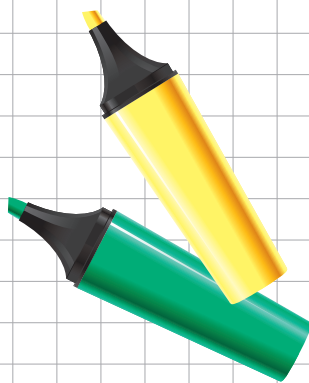
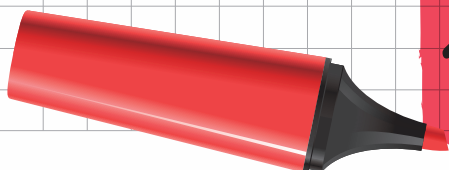
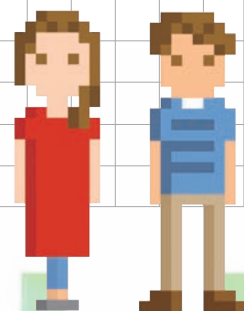
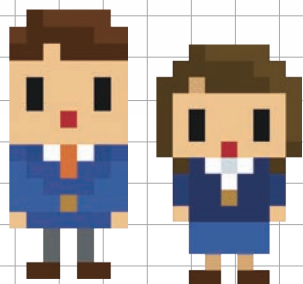
3日間を過ごす上で  
自分たちが発言しやすい・考えやすい  
雰囲気を作るために決めた3つのルール。

① 否定しない。

② 自分で考える。

③ それぞれ自分の中でのルールを決める。

中高生ミーティングを過ごす3日間、  
① 否定しない ② 自分で考える 以外で、  
自分たちが発言しやすい・考えやすい  
雰囲気を作るために何が必要か。  
自分が大切だと思うルールを書く。





# 1日目

関係・場作り

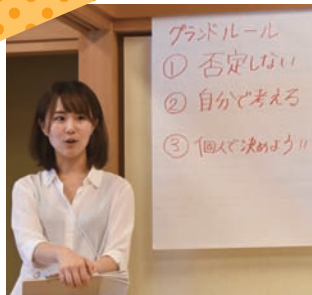
## 『見て』『歩いて』知る 現在(いま)の鹿児島



アイスブレイク

概要説明

10:00 ~ 10:05



10:05 ~ 11:00



11:00 ~ 12:00



各テーマの現状把握

12:00 ~ 12:10

各コース紹介



12:10 ~ 12:30

チーム分け

まち歩きの説明

12:30 ~ 13:20

昼食



13:20 ~ 13:30

13:30 ~ 16:00

まち歩き



チーム「12」スポーツコース

白波スタジアム  
ユナはんカフェ



- 維新ふるさと館
- 維新ドラマの道
- 観光交流センター
- みやげ横丁
- 特設観光案内所

チーム「たまごっち」  
観光コース



チーム「サイエンス」  
障がいの福祉コース

- 車イス移動中央駅地下道
- アミューズザ館内
- 車イス移動中央駅地下道



まち歩き  
振り返り

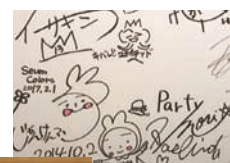
16:00 ~ 17:00

**白波スタジアム**

- ◎ 身体障害者の方用のトイレでトイレ。そこから直接車いす専用席につなげていたことに感動!
- ◎ サボ-ターが風子と直接関われるイベントやボランティアがあれは喜んでもらえそう

**カフェ**

- ◎ ハンドメイドに映っていた障害者-サボ-ターがうれしく感じた。
- ◎ 寝転ぶ-スもおもしろい!
- ◎ カフェで選手と直接関わることでたくさんことを多くの人に知ってもらいたいと感じた。





# 2日目

未来を描く

鹿児島で働くステキな大人の話を聞いて、提言の内容を考える



チエックイン 10:00 ~ 10:10



10:10 ~ 12:00

宿題を発表



12:00 ~ 13:00

昼食



13:00 ~ 14:00

社会人ゲストトーク



14:00 ~ 15:00

社会人ゲストと意見交換



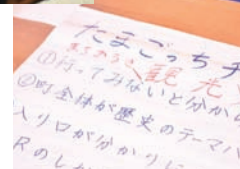
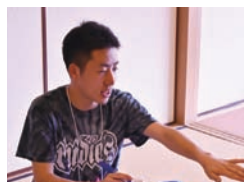
15:00 ~ 15:10

休憩



15:10 ~ 17:00

提言の内容について話し合い



# 3日目



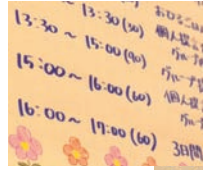
提言・宣言作成

個人で、チームで考えた  
社会への「提言と宣言」を発表



チェックイン

10:00 ~ 10:10



個人で考える時間

10:10 ~ 11:10



個人提言の仕上



11:10 ~ 12:00



昼食

12:00 ~ 13:00



個人提言をグループ内で発表

13:00 ~ 13:30



13:30 ~ 15:00

グループ提言作成



15:00 ~ 16:00

提言の発表

16:00 ~ 17:00

3日間の振り返り



自分も

鹿児島のために  
何かできないか  
考えるように  
なった。

こういった場が  
初めてだった。

1つの事に対して  
みんなで話し合っ  
ていくのが  
とてもよかった。

感動した。  
人と人が  
繋がって  
新しい力が  
生まれるのを  
目にする  
ことが  
できた。

昔から発言を  
する場が  
苦手だったけど、  
この場で7年ぶり  
くらいに自分で  
考えてものを話す  
楽しさを知れた。

この場に  
関わることが  
嬉しかった。  
個人的にも  
成長できた。

2日目、  
3日目と高校生が  
成長していくのが  
感じられた。

市役所の方は  
最後まで  
信じてくださり、  
学生スタッフの皆は、  
時間も割いて  
力を貸してくれて、  
高校生この場に  
勇気を出して  
参加してくれて、  
皆ありがとう。

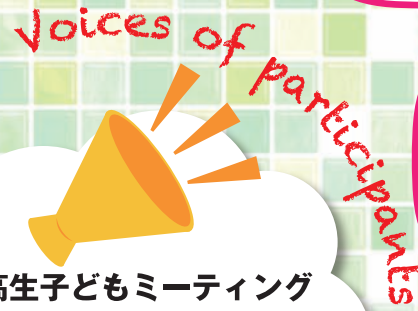
中学生と  
一緒に  
成長できた。  
この三日間で  
学んだことを  
自信にして  
欲しい。

鹿児島のことを  
知る事ができた  
三日間でした。

2日目、  
3日目には  
ここにいる  
みんなの垣根が  
なくなっ  
ているのを見  
て  
すごいなと  
思った。

この濃い  
三日間は  
今後の  
人生の中でも  
宝物。

中学生の皆に  
鹿児島を好きに  
なって貰うことが  
目標だったけど、  
気付いたら自身が  
鹿児島のことを  
好きになっていた。



# 中高生子どもミーティング 参加者の声

鹿児島の良い  
ところを知りたい  
と思った。

3日間、自分が思っていた  
以上に成長してくれて  
よかった。  
この3日間の事を単なる  
3日間ではなく  
きちんと自分の中に  
残してほしい。

違うことも  
やってみたく  
なったりと、  
いい意味で  
迷い始めた。

大学生や大人の目の  
付け所や考え方が  
凄くて参考になった。

鹿児島のこと  
知らなかった人を知れた。

自分が中高生、  
大学生の頃とは  
比べると  
こんな会に  
積極的に参加したり  
意見を言えたりと  
すごいと思った。

年上と話すのが  
苦手だったけど、  
克服できた。  
幅広い人と  
交流ができ、  
歳の近い  
友達もできた。

1つの  
チームで  
1つの  
ものを  
作り上げて  
いく過程を  
見る事が  
できた。

こういう事を  
経験するのが  
初めてで  
緊張したけども、  
皆が優しく  
三日間楽しかった。  
本当にありがとう。

普段学校の  
授業では  
話さないけども、  
今回話し合いに  
積極的に  
入って行ける  
ようになった。

最初は  
不安だったけども、  
このよう場を  
作ることができたのも、  
ここにいる皆さんの  
おかげだと思った。

私たち大人が  
気付かないような  
ことを  
話してくださり  
改めて  
気付かされた。

普段の生活では  
経験させて  
あげられない事を  
経験させて  
あげられた。

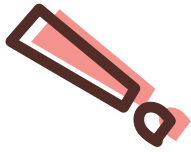
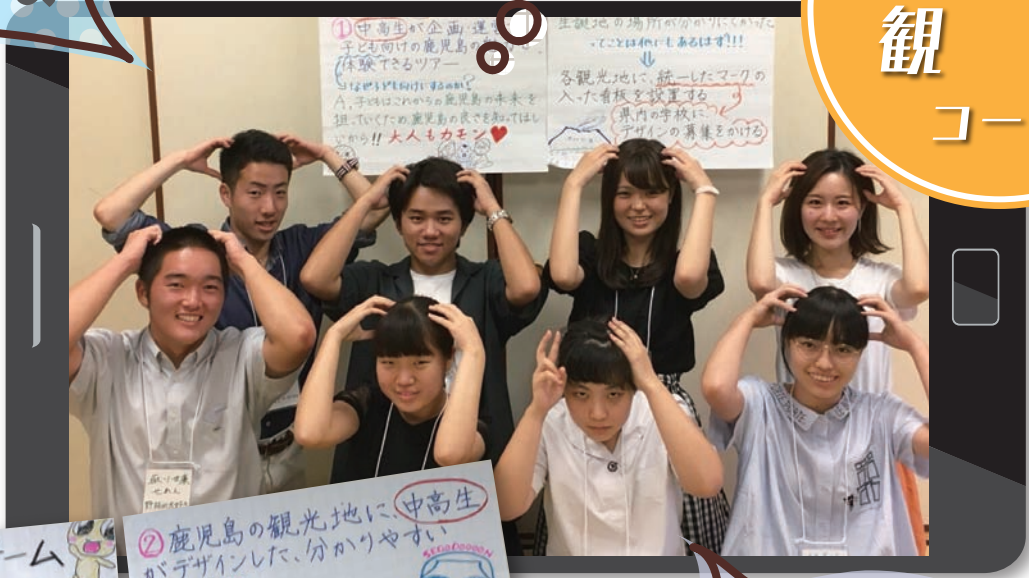
中高生が  
主体となって  
鹿児島を  
盛り上げて  
いける  
活躍の場を  
提供して  
ほしい。



空き家とシャッター街の  
活用をした  
中高生の活躍の  
場がほしい。

観光  
スポットを  
もっと  
利用しやすく、  
もっと  
盛り上げて  
ほしい。

チーム  
「たまごっち」  
**観光**  
コース



たまごっち チーム

① 中高生が企画・運営する、子ども向けの鹿児島の魅力を体験できるツアー

② 鹿児島の観光地に、中高生がデザインした、分かりやすい目印を!!

まちなかを通して... AR体験ができる場所や、西郷どん生誕地の場所が分かりにくかったことは他にもあるはず!!!

各観光地に、統一したマークの入った看板を設置する

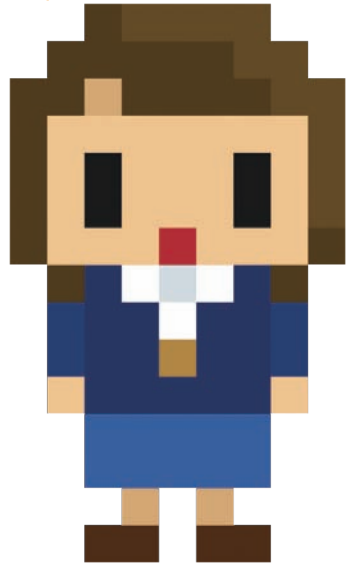
県内の学校に、デザインの募集をかける

観光スポットに  
中高生から公募した  
案内用の目印を  
作って欲しい。

歴史に  
特化した  
イベントを  
これからも  
開催して  
ほしい。



高校1年生



維新ふるさとの道から維新ドラマの道を歩く中で観光のスポットは沢山ありましたが、目立たなくて見つけづらいので、わかりやすい目印がほしいです。またその目印は市内の中高生から公募してもらえば、応募者や当選者はその目印に対して愛着も湧くと思います。鹿兒島を盛り上げるためには中高生が中心となっていていけないと思います。

**提言**

観光スポットに中高生から公募した案内用の目印を作って欲しい。

**宣言**

中高生が集まる学校で企画をして皆に呼びかけたり、その企画を宣伝できたら良いと思う。

**提言**

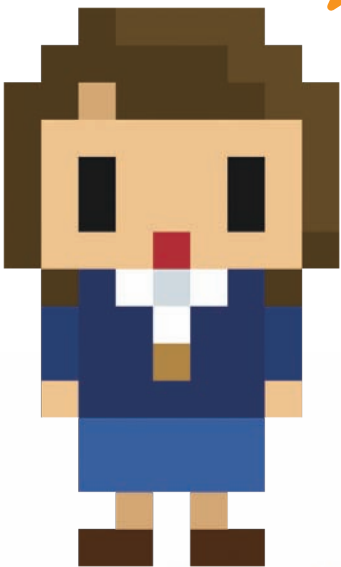
空き家とシャッター街の活用をした中高生の活躍の場がほしい。

**宣言**

今後、中高生ミーティングのような場には積極的に参加したいと思います。

1日目の宿題で観光を調べている時に、鹿兒島では空き家とシャッター街が問題になっていると知りました。空き家は中高生を中心にリノベーションから運営までをします。リノベーションを進める中で新たな人との繋がりが出来たり、運営を行う中でお金の仕組みを知る事が出来ます。それは新しい地域産業を生み出す事に繋がります。地域の活性化と同時に中高生の鹿兒島への愛着を促すことが出来ます。お金が関わるので難しいかもしれませんが、そこを大人にフォローして欲しいです。シャッター街は中高の美術部などが絵を描いたりして華やかな場所にします。それだけでも話題性があると思います。

中学3年生



高校1年生



私の提言は4つあります。

1つ目は維新ふるさと館の道に観光客や障害者の方、皆にとつて利用しやすい音声ガイドの設置です。人の声でガイドをすると列の後ろまで聞こえないことがあります。また4、5ヶ国語に対応したものとより良いと思います。

2つ目は維新ふるさと館へのスタンプの設置です。子供達がより楽しく観光ができ、維新ふるさと館へ足を運びたくなるように、西郷さんや大久保さんの格好をした人がスタンプを押してくれたらなお良いと思います。

3つ目は維新ドラマの道にあるARの場所への屋根付きベンチの設置です。周囲に日陰がなくて、夏は暑いです。またスマホを持たない人のためにARの映像の絵と説明が書かれたパンフレットを設置してほしいです。

4つ目はみやげ横丁(鹿児島中央駅構内)全体で盛り上がりたつてほしいという事です。お店によつては盛り上がり薄いと感じました。地元の方や、みやげ横丁全体で盛り上がりあげれば買物もしやすくなります。

提言

観光スポットをもっと利用しやすく、もっと盛り上げてほしい。

宣言

鹿児島の魅力を

できるだけ多くの方に伝わるよう、アピールしていけたらいいと思います。

提言

中高生が主体となって  
鹿児島を盛り上げていける  
活躍の場を提供してほしい。

宣言

私達みたいな若い世代が、積極的に活躍して  
盛り上げていくために、自分も中心となって  
積極的に活動して、いつかこの鹿児島に  
貢献できるように頑張りたい。

1日目に、鹿児島の観光地を歩き、魅力を感じました。私は魅力を知つて鹿児島が好きになつたし、きつと他の中高生も魅力を知れば、地元に残りたくなつたり、貢献したいという気持ちになると思います。

例えば中高生が企画運営する子ども向けの「鹿児島の魅力発見ツアー」。こちらを鹿児島市にはバックアップしてほしいです。

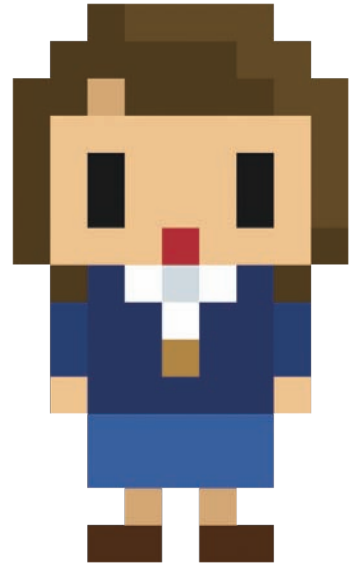
ツアー名は「わっせか体験子どもツアー」。小中学生向け、中学生プレゼント。舞台は桜島でイルカウォッチングや桜島大根の収穫。天然足湯作りに桜島ガイドウォーク。帰りは皆で一日の振り返りをしたりする内容になります。

企画側と参加側の両方を若者にすること、その世代に鹿児島の魅力をより伝えられます。また企画に参加する学生は志が高い人が集まると思つので、ステップアップの場にもなると思います。

高校3年生



高校3年生



現在、大河ドラマ「西郷どん」でまちが賑わっていますが、それだけで終わらないように、歴史のテーマパークのような鹿児島市になって欲しいです。

大人の方に対しては、他県の人にも鹿児島島の事を話せるように、歴史上で有名な人物の情報を学べるようなイベントをして欲しいです。

子どもに対しては、鹿児島島の歴史を身近に感じられるイベントとして、維新ふるさと館周辺でのショーなどがあると面白いと思います。

私と同世代の人に対しては、SNSを利用して発信してもらえ  
るようなイベントをして欲しいです。

また、足を運んでもらって周りの人と繋がりが出来るような内容も良いと思います。

### 提言

歴史に特化したイベントを  
これからも開催してほしい。

### 宣言

今回自分の知らない魅力が詰まった  
観光地に行かせて貰ったので  
この経験を他の友達に紹介して、  
その人が行きたくなるような説明を  
していけるように  
明日から実践していきたい。





SNSで  
情報発信と、  
「受験生応援  
キャンペーン」を  
したらいいと  
思います。

チーム  
「12」  
スポーツ  
コース

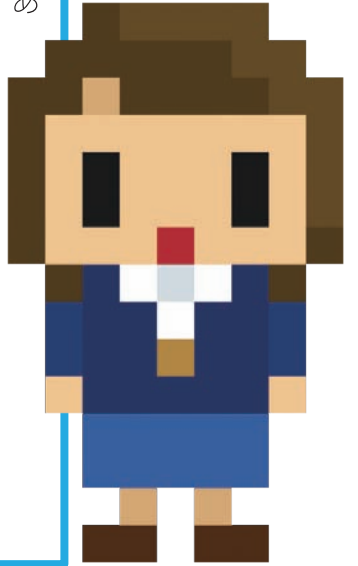


ユナイテッドFCの広告。  
選手個人のポスター。  
スタジアムグルメを作る。

スタジアムに、  
その時その人に  
合わせた座席を作る。



高校2年生



私は気付いた事が3つあります。

- 1つ目が白波スタジアムに行くまでにユナイテッドFCの広告がないこと。
  - 2つ目がユナイテッドFCの広告の中に選手が写り込み過ぎていて1人を認知できないこと。
  - 3つ目がスタジアムグルメが男性向けのがつりしたもののしかないこと。集客数を増やすには中高生や若い女性にも興味を持ってもらう必要がある。そこで私が考えた解決策があります。
- 1つ目がユナイテッドFCの広告を作りスタジアムや鹿児島中央駅の近くに電光掲示板を配置する。
  - 2つ目が選手1人1人、11種類のポスターを作る。
  - 3つ目が、集客数を増やすために女性向けのスタジアムグルメを作る。またユナイテッドFCの中だけでなく中高生の意見を聞く。色々な学校の生徒と一緒にチームや鹿児島の魅力が詰まったスイーツを考えると良いと思います。

## 提言

**ユナイテッドFCの広告、選手1人1人のポスター、女性向けのスタジアムグルメを作る。**

## 宣言

**女性の観客数を増やすためにも自分でも観戦に行つて友達にも知ってもらおう活動をします。**

## 提言

**SNSで鹿児島ユナイテッドFCの選手の情報発信と、受験生が白波スタジアムに行きやすくなるような「受験生応援キャンペーン」をしたらいいと思います。**

## 宣言

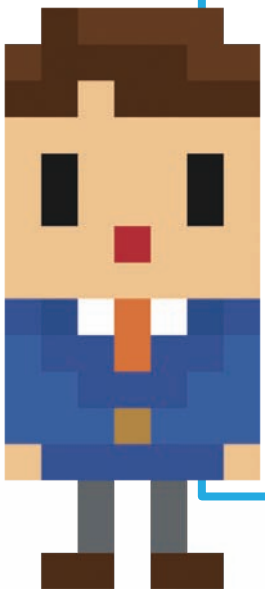
**ユナイテッドFCのファンクラブに入ります。そしてユナイテッドFCの試合を見に行きたいと思います。**

鹿児島ユナイテッドFCのチーム名は知っていても、選手1人1人の事を話せる人は多くないと思います。そこで僕はSNSで毎日1人、選手が情報発信をしたらいいと思います。SNSで選手が行った場所や食べたものを発信して、もっと選手を身近に感じられるようになれば良いと思います。

白波スタジアムの成功事例で「スタジアムで宿題」という企画がありました。勉強をしないといけない受験生は行きにくいと感じると思います。でも、勉強だけだとストレスもあつたり、勉強の質も下がります。

そこで僕が提案するのが「受験生応援キャンペーン」。夏休み前にチラシを配ります。チラシには学割クーポン券を付ける。後輩や友達も安くなるペアチケットが貰えたり、受験生向けに、受験にカツというカツを貰える特典もい

高校1年生



提言

選手たちの思い入れのある料理や郷土料理を提供し、スタジアム内にその時その人に合わせた座席を作る。

宣言

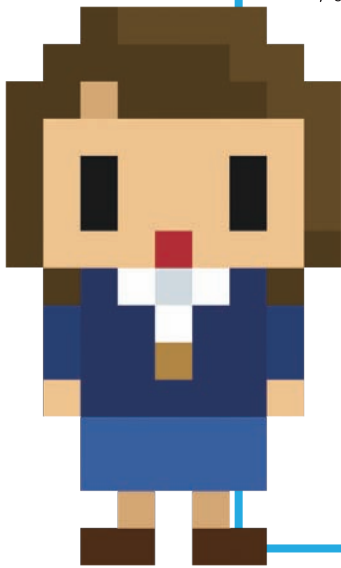
SNSで自分の意見を添えて発信し情報を広げる。

初日の宿題をして気付いた事がありました。J1・J2といった上のチームのグルメがすごい。自分達の思い入れのある料理や郷土料理を提供して欲しいと思います。

でも鹿児島にも、有名な食べ物といえば？とんこつ、かるかん、サツマイモ！ばつと出るくらい良いものは沢山あります。アウェイの人達に鹿児島の良さをアピールするきっかけにもなると思うので、ぜひ取り入れてほしいです。また、スタジアム内にその時その人に合わせた座席があったら嬉しいと思います。他のスタジアムだと、「畳の席」「パーカウンター席」「家族で座れる席」といった席があって、こんな席があるのもっと行き易いと思いました。そんな席で美味しい物を食べ、サッカーを観る事ができれば最高です。陸上用トラックに畳を敷いて試合を観戦できるスタジアムもあって面白いと思いました。

実際に私が6月に試合を見に行った時にも一緒に応援していたサポーターの人達と歌って帰るくらい楽しかったです。そういう事を添えて情報発信して、ぜひスタジアムに足を運んで貰えるようにしたいです。

中学3年生



理想のお店

「ハッピー店」を

作るのを手伝ってほしい。

中央駅からイオンに向かうまでのエレベーターを利用しやすくしてほしい。

チーム「サイエンス」  
障害福祉コース

健常者にも障害者にももっと情報発信をしてほしい。



車椅子の方が安心して渡れる専用歩道を作ってほしい。



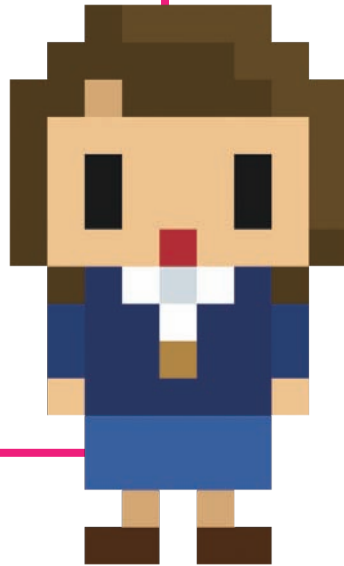
**提言**

車椅子の方専用の横断歩道を付けてほしいのと、自転車がかつて車椅子の方に誤ってぶつかると防ぐために自転車用の歩道と車椅子用の歩道は離れた方がよい。

**宣言**

車椅子で困っている人がいたら、積極的に声をかけて助けてあげたい。

中学2年生

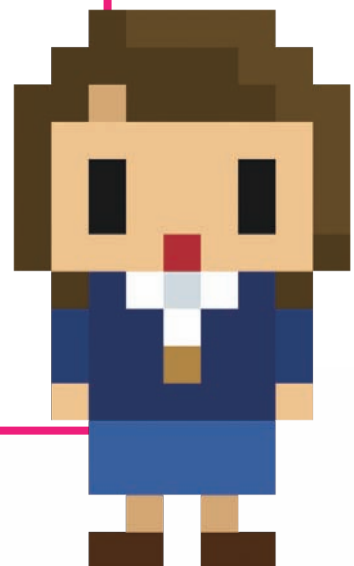


皆さんは鹿児島県バリアフリーセンターを知っていますか？ここで働いている人は皆ボランティアで、20代の方から高齢の方まで世代がともも広いです。仕事の内容は鹿児島県各地のバリアな所やバリアフリーな所を、車椅子の方などに発信する仕事です。例えばこのお店はスロープやエレベーターがついているとか、ここは階段がともきつい、入口や通路が狭いとか。その場所が車椅子でも行けるかどうかかわかります。興味がある方は是非足を運んでみて下さい。

バリアを感じる場所の中でも一番変えたほうが良いなと思ったのは1日目にアミューを回った時に通った横断歩道です。

実際に私が車椅子に乗って横断歩道を渡った時に向こう側から来る自転車にぶつかりそうだったので、少しの距離ですがとても不安になりました。

高校3年生



まち歩きをして気付いた事は中央駅からイオンに行くまでに、使うエレベーターの場所がわかりにくい事でした。通る時にエレベーターの目印が無い事がわかりました。地下に降りると地下のエレベーターの横に看板がありました。エレベーターに乗ってみると力づくさい匂いが気になりました。

問題点としては看板の表示が小さくてエレベーターがわかりづらい事です。また利用者が少なくて換気がされていないと思いました。案内があると利用する人が増えるのでエレベーターの扉の開き締めが増えて、匂いも改善されると思います。

**提言**

エレベーターの場所を分かりやすくしてほしい。

**宣言**

困っている人を見つけたら自分が出来ることであれば、手伝いたいですし、出来ないことであれば人に頼もうと思いました。



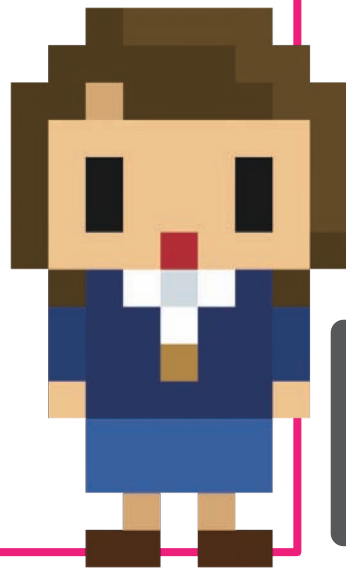
提言

今一番大事なことは情報発信をすることだと思います。

宣言

今回の中高生ミーティングについて  
作文にして周りに発信して  
いきたいと思いました。

中学3年生



私は1日目のまち歩きで自分が知らないことが多いとわかりました。だからこそ今一番大事なのは情報発信だと思います。

情報発信の対象者はまず健常者です。様々な場所の不便な現状や障害者が困っている時どうすべきか等発信したいです。次に車椅子の方、障害者の方。障害者の方は観光に行く時、トイレや段差があるか等調べなくてはいけないのに、情報は意外と少ない。だから車椅子でも行ける場所の情報発信が大切だと思います。

発信方法の1つは新聞。また若い人向けにはSNSを利用します。またYouTubeで鹿児島市のHPに車椅子の方が観光している動画を流せば、わかりやすいし、HPを見た県外の方へのPRにも繋がると思います。

SNSを利用する際は、欲しい情報がすぐ見られる様、色々な情報をまとめるの良い。情報を集める仕組みとしては「障害者で旅行したい人」を鹿児島市が雇い情報提供してもらう。障害者の方が「自分が行きたい所ではなく車椅子でも行ける所を選ぶ」という現状から、「沢山の情報の中から行きたい所を選べる」ように変化すれば、観光の楽しみが増えるはずです。

今健常者と障害者は知らないゆえに相手を傷つけ、傷ついた障害者の方はあまり外出しなくなり、お互いを知る機会が更に無くなる悪循環になっている。健常者の方はもっと情報を知って、障害者を持つ方は外に発信するという双方の努力が大事だと思います。

高校2年生

提言

鹿児島市に「ハッピー店」を作りたい。

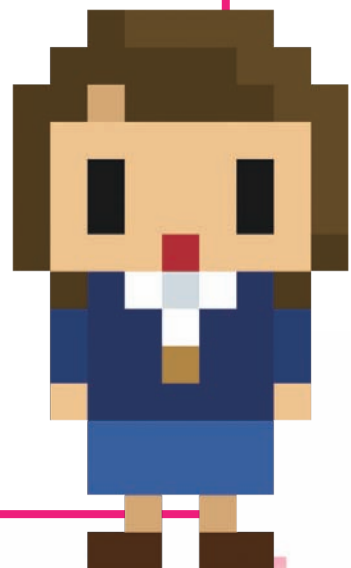
宣言

「ハッピー店」を作るために建築が出来る方たちを呼んでやりたいのですが、私達若者も手伝えることがあると思うし、高校生にしか出来ないこともやりたい。

皆さんは外食する時、どこで食べますか？お店に行くとき色々不便なことがあると思います。皆それぞれ理想のお店があると思うけど、私の理想のお店を作るなら「ハッピー店」という名前の店です。

考えたきっかけは、中高生ミーティングで他県のバリアフリーを調べた時に神奈川県「風の音」というお店を見つけたことです。その「風の音」を参考に鹿児島にも「ハッピー店」を作って欲しいです。

「ハッピー店」は通路が広くて段差もない、トイレは車椅子の方でも使いやすい、料理も一口大で誰でも食べやすいというようなバリアフリーなお店にしたいです。店内には触れたら自動で開くドアや多目的トイレの設置、照明が暗くなっても手元が見えるようカウンターにライトをつける工夫もします。建てる場所は鹿児島の中央駅近くがいいです。安全にお店に来れるよう歩道も整備しバスも作りたいです。誰でも来やすく皆が交流出来るお店を作りたいです。





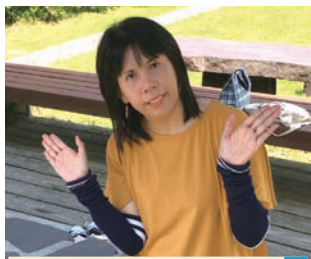
## 社会人ゲスト 紹介



鹿児島銀行

木下 浩昭

**中** 高生の皆さんと触れ合い、お話をさせてもらって皆さんの我がまちへの真剣な想い、好奇心、期待感、自身の夢など私自身が気付かされたり、学ぶことが多く刺激を受けました。「鹿児島の未来を頼んだぞ!」という気持ちになり、わくわくしました。



NPO法人かごしまバリアフリーツアーセンター

紙屋 久美子



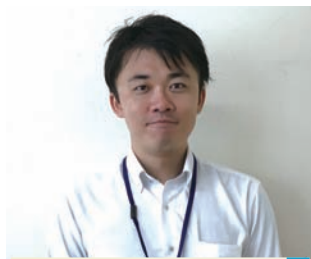
鹿児島ユナイテッドFC

小林 浩宣



フリーアナウンサー

柳 佐知



(株)プロゴウス

山下 孝一郎

## 3

日間のこの時間は僕らにもかけがえのないものでした。ありがとう!



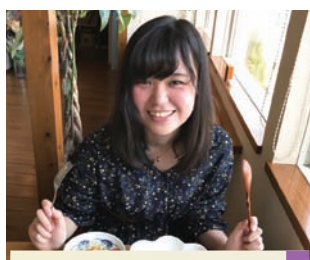
## スタッフ 紹介



鹿児島大学 井尻 敬天



志學館大学 岡元 里桜



鹿児島大学 古川 菜々美



鹿児島大学 後藤 宏太



鹿児島国際大学 坂ノ上 将大



鹿児島国際大学 上荒磯 太一



鹿児島国際大学 増留 汐里



鹿児島大学卒 神山 綾華



(株)プロゴウス 永田 沙織



(株)プロゴウス 岩切 礼



(株)プロゴウス 吉井 武洋



鹿児島市市民協働課

枝元 羽島 濱田

## 鹿児島市役所の想い

この子どもミーティングは、次代を担う子ども達が、鹿児島市のまちづくりについて、夢やアイデアを出し合い、意見交換を行い、その意見を市政運営の参考とすることで、若い世代の市民参画の推進を図ることを目的とした取り組みで、平成二十二年度から始めました。

今回は、観光、スポーツ、障害福祉といった3つのテーマを設け、本市がより魅力的なまちになるような具体的なアイデアを提言として考えてもらいました。子どもたちは各テーマについて、自分なりの課題を見つけ、それらを解決するためにはどうすれば良いか、自分自身の将来も含めて共に考えることで、普段の学校生活ではあまりできない経験ができたのではないかと思います。

今回、ゲストとして参加して頂いた社会人の皆さんや、サポートしてくれた大学生との楽しく、そして真剣な対話の場は、まちの未来や自分自身の将来について深く考えるきっかけになったものと思います。また、ここで感じたことや得られたことを胸に、これからもまちづくりや地域活動に積極的に参加してほしいと思います。

本市としても中高生の想いをしっかりと受けとめ、協働によるまちづくりを二層推進していきたいと考えています。



### 平成三十年度 鹿児島市子どもミーティング開催事業

名称：かごしま「まちづくり」中高生ミーティング

参加者：中高生 十一名

(男子・女子割合) 男子三名 女子九名

(中学・高校割合) 中学四名 高校八名

日時：

【一日目】八月八日(水) 十時〇〇分～十七時〇〇分

「見て」「歩いて」「知る」現在(いま)の鹿児島

【二日目】八月九日(木) 十時〇〇分～十七時〇〇分

鹿児島で働くステキな大人の話を聞いて、

提言の内容を考える

【三日目】八月十日(金) 十時〇〇分～十七時〇〇分

個人で、チームで考えた

社会への「提言と宣言」を発表

場所：全日程 鹿児島市勤労者交流センターよかセンター七階

講師・コーディネーター：

永田 沙織 (株式会社プロコフス)

岩切 礼 (株式会社プロコフス)

吉井 武洋 (株式会社プロコフス)

目的：若い世代の市民参画を推進するとともに、

その意見を市政運営の参考にしていきたいこと。

対象：公募により参加の、鹿児島市内在住、

または鹿児島市内に通学する中高生

【主 催】 鹿児島市市民協働課

【実施・運営】 株式会社プロコフス



